

ホトトギス（ホトトギス科） 全長27.5センチ

9月2日、神宮寺中川原公園。

静かに車を走らせていた時、桜の繁みから飛び出した鳥がいた。体の色からキジバトと似ているが、どうも違う。幸い10メートル程の距離で、眺めのいい電線に止まってくれた。

直ぐに車を止めるとこちらを気にする様子もありません。直ぐ下は舗装道路があるので、散歩の人が横切るとか、車が通ると飛び去ってしまうだろう。誰も来ないように願いながら撮影を始めた。

キジバトではなく、ホトトギスの赤色型であった。普通ホトトギスは雌雄同色であるが、メスには赤色型があると言われるが、私は初めての撮影です。



ホトトギス、赤色型。

ホトトギスは電線上でほとんど動きがありません。

人間は贅沢なもので、今度は少しばかり動いてくれればありがたいなどと願っていた。やがて車が真下を横切ったが飛び去りません。その後に散歩の女性が通り過ぎたが、まだ動きません。随分と人馴れしているものだ。



長く待っていて、クチバシを開いてくれた。



正面からの顔つきはこんな感じ。尾羽は長い。

3番目にやってきたのは、犬の散歩です。

ホトトギスは犬を警戒したのでしょうか、ようやく飛び去ってしまった。



後ろ向き。



飛び去った直後。風切り羽の裏側も見られます。